
首都圏在住福島県出身若年層アンケート 調査結果

令和6年9月4日
福島県復興・総合計画課

首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果概要

○調査目的

首都圏に在住する福島県出身若年層を対象に、福島県から転出したタイミングやその理由、就職・転職の意向などを調査し、現在の本県とのつながりや過去の県内での経験、Uターン意向、愛着度などの実態把握を通じて、県内就職・転職及び定着を図る上での要件や課題を明らかにする。

○期 間：令和6年5月24日（金）～令和6年6月2日（日）

○対 象：首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）在住で福島県出身の18歳以上35歳未満の男女

○調査方法：SNSを活用したインターネット調査

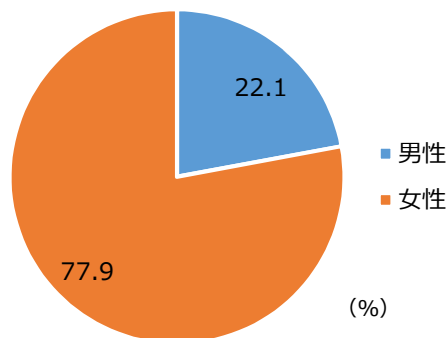
○回答件数：512件（うち男性：113件、女性399件）

○主な調査項目

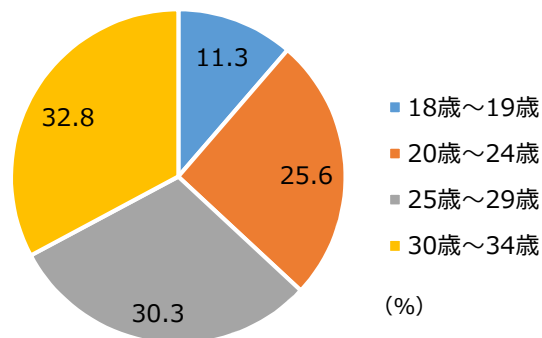
- 1 福島県からの転出経緯
- 2 就職・転職活動に関する希望状況
- 3 Uターンの可能性とUターンに求める各種条件
- 4 福島県に対するかかわりや愛着

回答者の基本情報

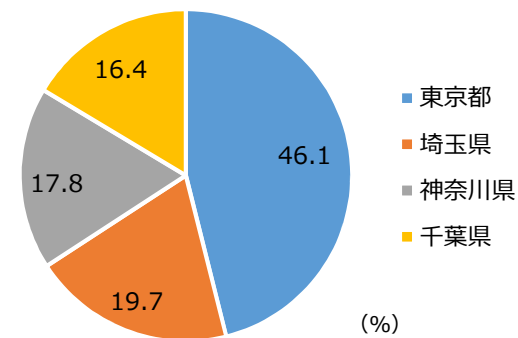
<回答者の男女内訳>



<回答者の年齢内訳>



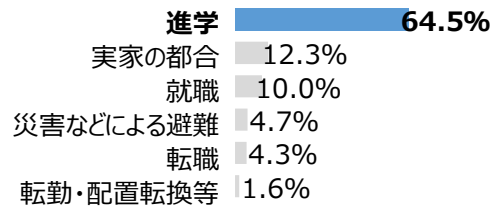
<回答者の居住地内訳>



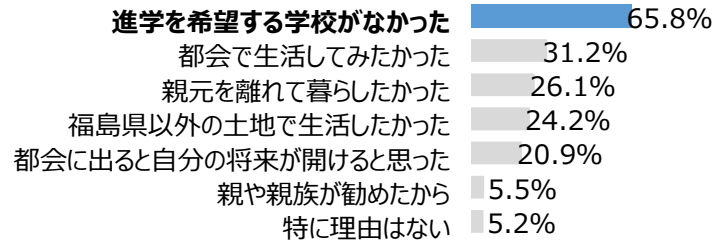
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果概要

1 福島県から転出した理由は？ 将来、住みたいまちは？

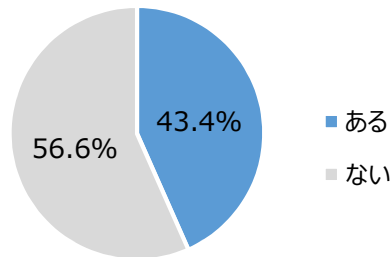
Q4 福島を離れた最初のタイミング



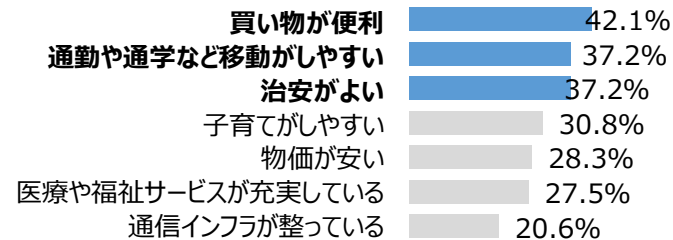
Q5 福島で進学しなかった理由



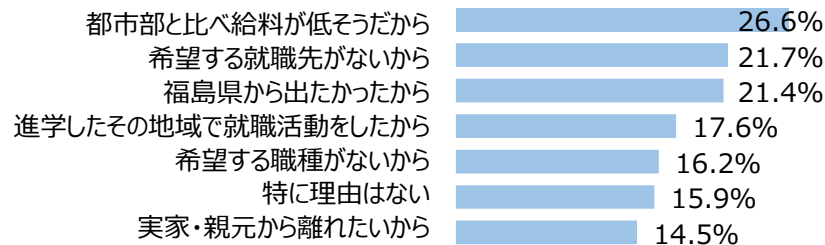
Q6 福島での就職・転職検討の有無



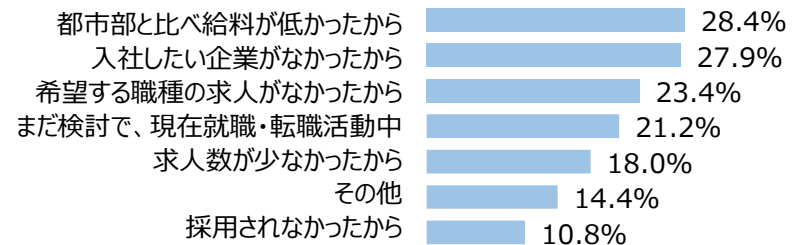
Q18 暮らす場所としてを福島に求める条件



Q7 県内企業での就職・転職を検討しなかった理由(Q6「ない」)



Q8 県内企業での就職・転職に至らなかった理由(Q6「ある」)



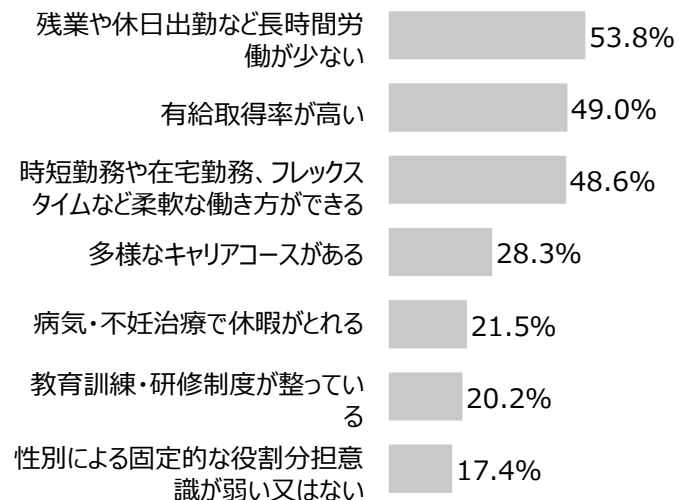
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果概要

2 就職・転職の条件は？福島県内企業のイメージは？

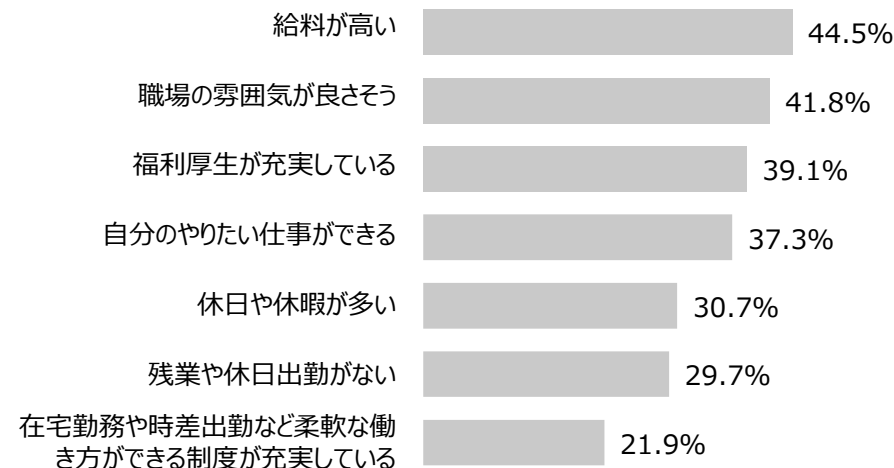
Q9-10 希望する就職・転職先の業種・職種

	業種	職種
1位	わからない/転職を考えていない 23.6%	わからない/転職を考えていない 34.8%
2位	医療、福祉 20.1%	総務・経理・人事 23.4%
3位	教育、学習支援業 18.4%	商品企画・開発・設計 19.7%

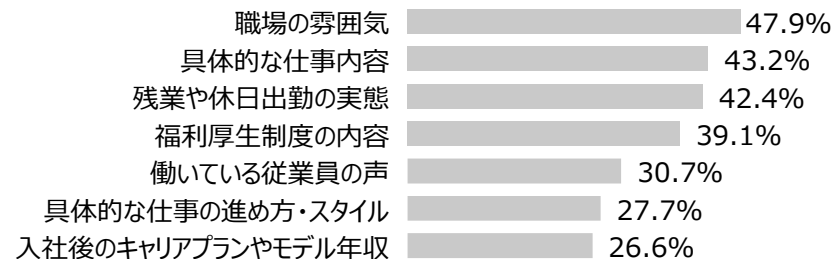
Q17 福島に戻る際、働く場所として企業に求める条件



Q11 就職・転職先を探す上で重視するポイント



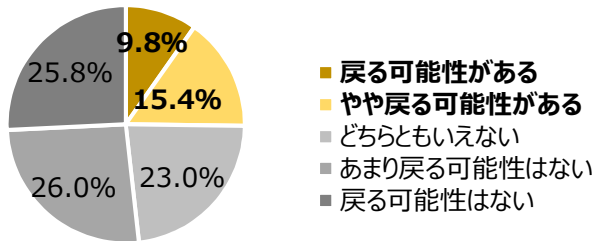
Q12 就職・転職先を探す上で知りたい情報



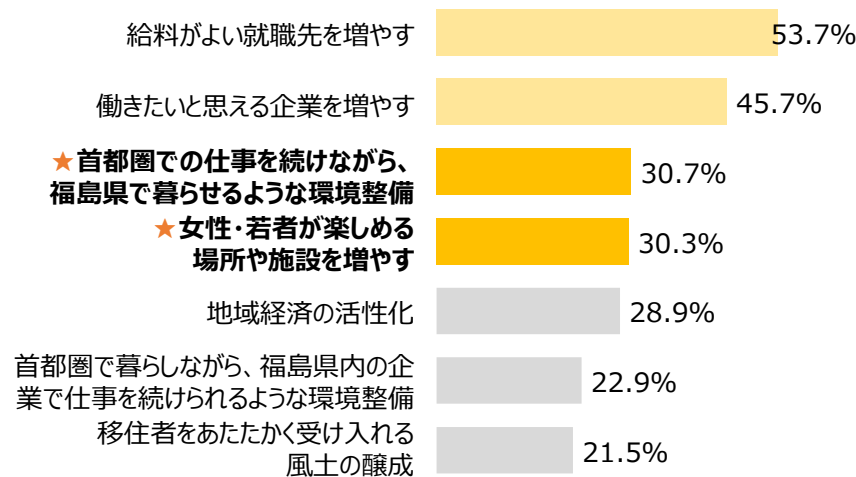
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果概要

3 福島県へのUターン意向は？若者の移住・定住を促すために必要な取組みは？

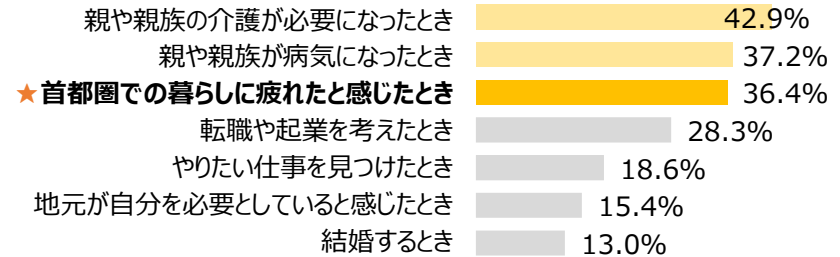
Q14 福島県へのUターン意向



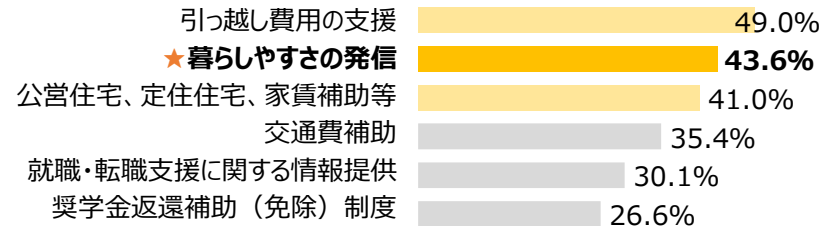
Q21 若者を呼び戻すために地域や企業に必要な取組み



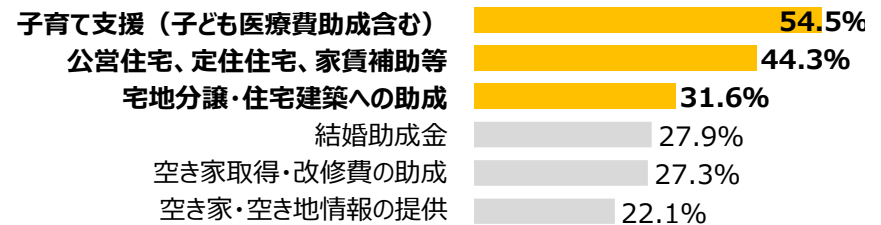
Q16 福島に戻るきっかけになるタイミング



Q19 若者のUターンのために行政が取り組むべき施策



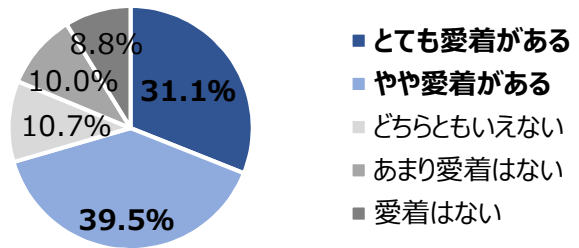
Q20 住み続けてもらうために行政が取り組むべき施策



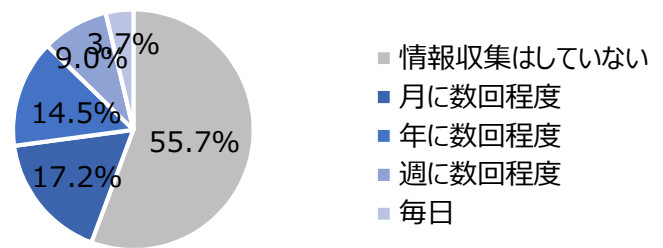
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果概要

4 福島県に対する愛着や福島県とのつながりは？

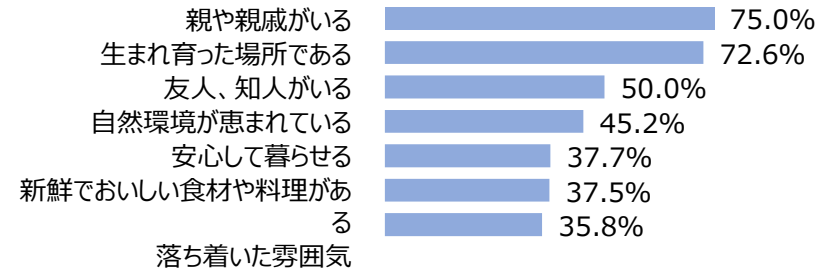
Q24 福島に対する愛着度



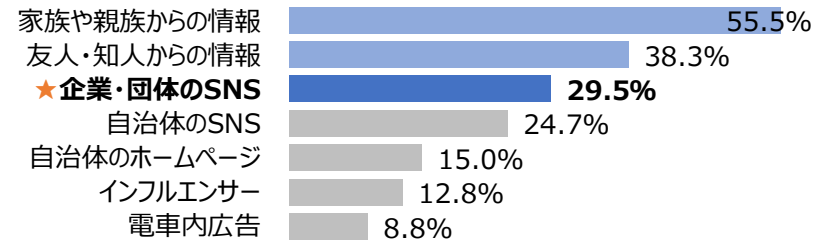
Q22 福島に関する情報収集の頻度



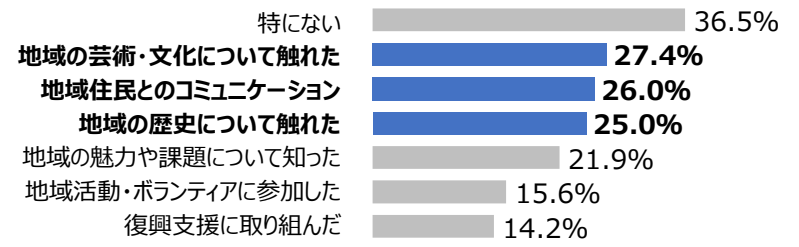
Q25 福島に愛着を感じる要素



Q23 福島に関する情報収集の方法



Q26 学生時代に福島への愛着形成につながった機会・経験



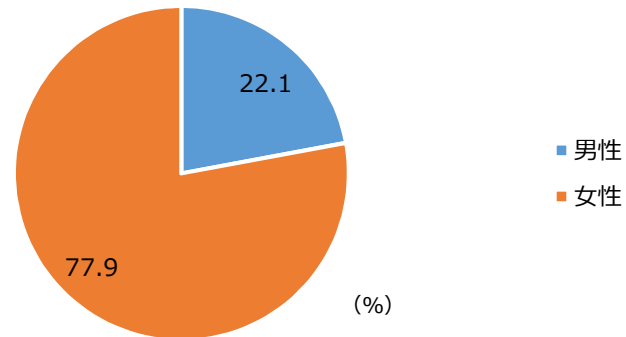
【付属】
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査
結果（全体）

首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（スクリーニング調査1）

ID 性別

○回答者の性別をみると、男性が22.1%、女性が77.9%となった。

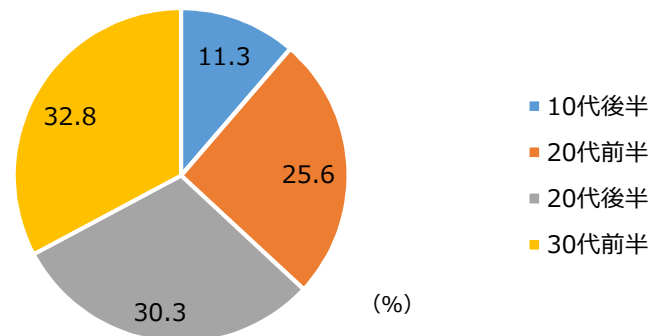
（単一回答）



ID 年齢

○回答者の年齢をみると、10代（18～19歳）は11.3%、20代前半（20～24歳）が25.6%、20代後半（25～29歳）が30.3%、30代前半（30～34歳）が32.8%となった。

（単一回答）

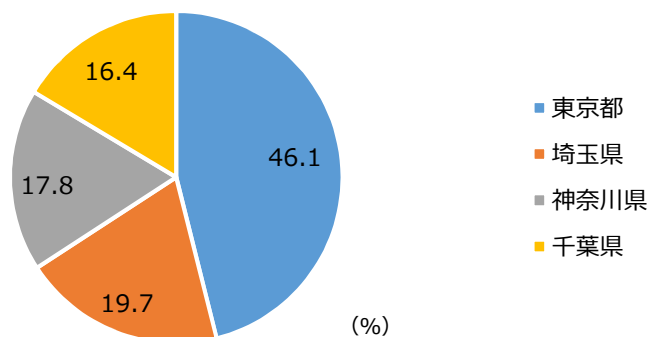


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（スクリーニング調査2）

SCQ1 あなたが現在、お住まいの地域を教えてください。

○回答者の居住地をみると、「東京都」（46.1%）が最も多く、「埼玉県」（19.7%）、「神奈川県」（17.8%）、「千葉県」（16.4%）の順となった。

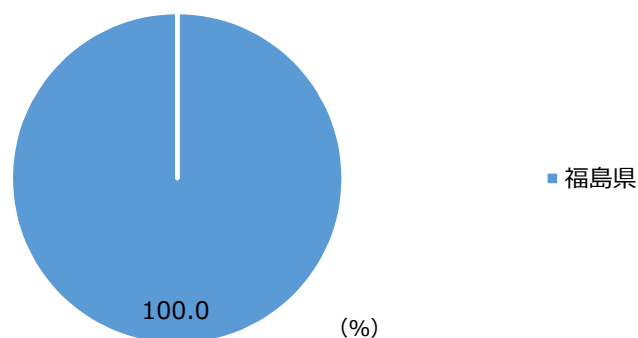
（単一回答）



SCQ2 あなたの出身地を教えてください。※幼少期に長く過ごした場所を出身地としてお答えください。

○回答者の出身地をみると、「福島県」が100%となった。

（単一回答）

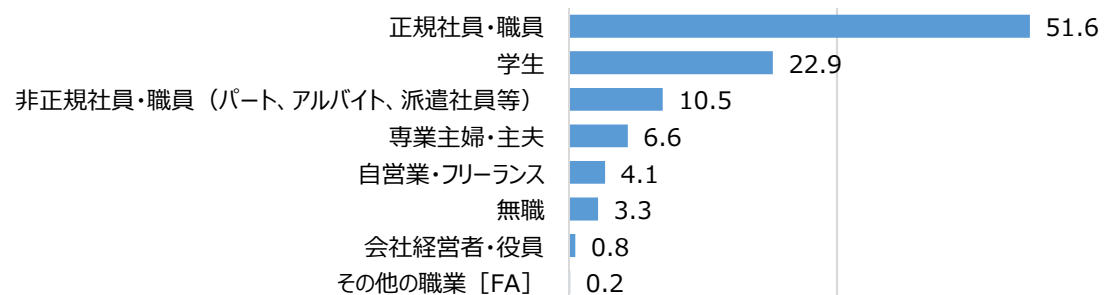


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（スクリーニング調査3）

SCR 3 あなた現在の職業を教えてください。

○回答者の職業をみると、「正規社員・職員」（51.6%）が最も多く、「学生」（22.9%）、「非正規社員・職員（パート、アルバイト、派遣社員等）」（10.5%）が続いた。

（単一回答）

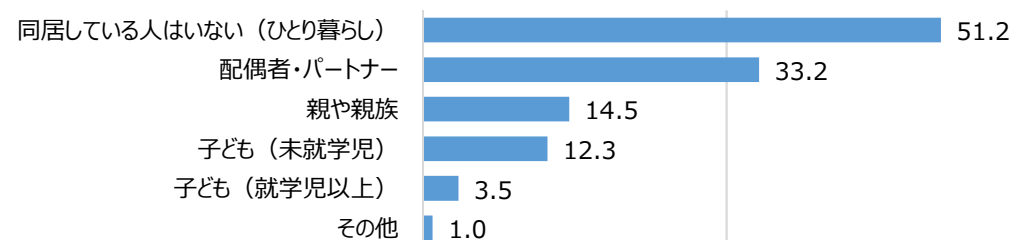


SCR 4 あなたが現在、同居している家族などについて、あてはまるものをすべてお選びください。

※あなた自身から見た続柄でお選びください。

○回答者の同居者の状況をみると、「同居している人はいない（ひとり暮らし）」（51.2%）が最も多く、「配偶者・パートナー」（33.2%）、「親や親族」（14.5%）が続いた。

（複数回答）

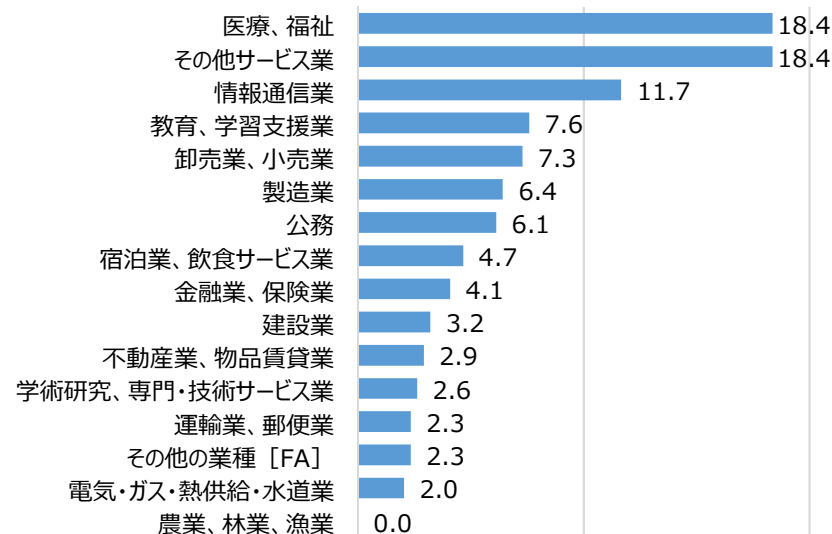


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査1）

Q1 あなたが現在、お勤めの会社の業種を教えてください。

○勤務先の業種をみると、「医療・福祉」「その他サービス業」（18.4%）が最も多く、「情報通信業」（11.7%）が続いた。

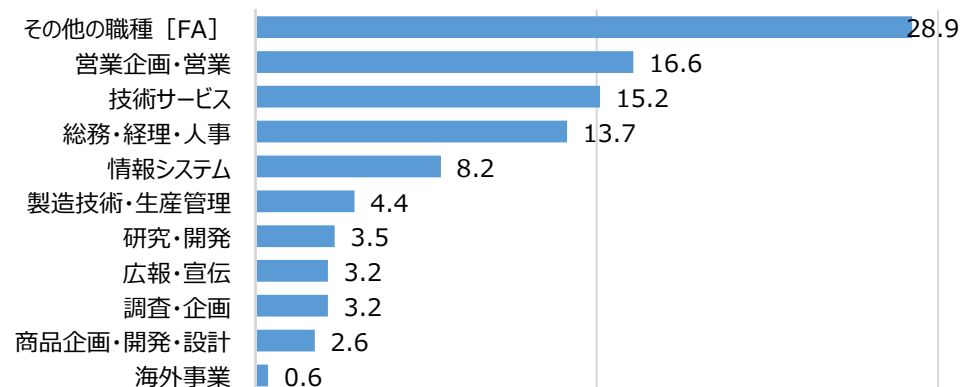
（単一回答）



Q2 あなたが現在、従事している職種を教えてください。

○勤務先での職種をみると、「その他の職種」（28.9%）が最も多く、「営業企画・営業」（16.6%）、「技術サービス」（15.2%）が続いた。

（単一回答）



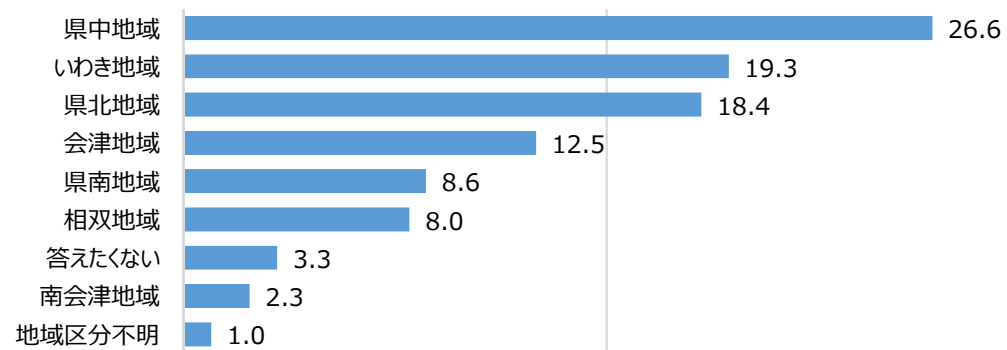
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査2）

Q3 あなたの出身地域を教えてください。

※生まれてから最も長く過ごした場所を出身地域としてください。

○出身地域をみると、「県中地域」（26.6%）が最も多く、「いわき地域」（19.3%）、「県北地域」（18.4%）が続いた。

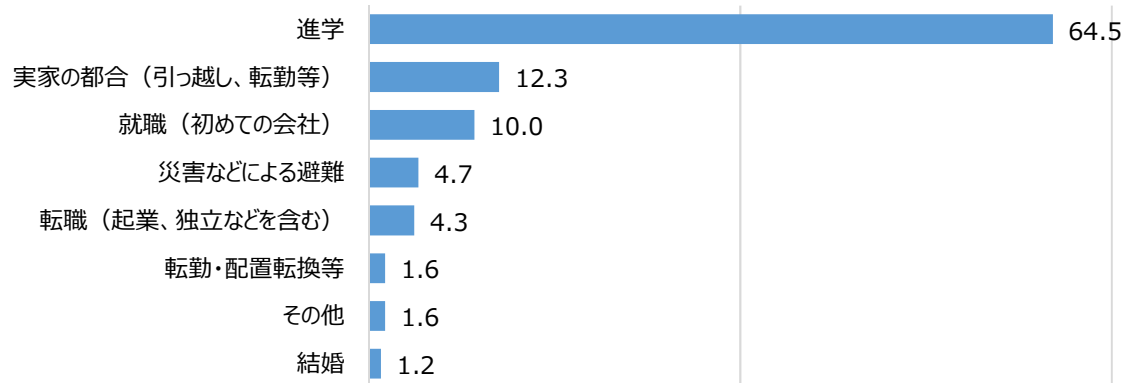
（単一回答）



Q4 あなたが福島県を離れた最初のタイミングを教えてください。

○福島県を離れた最初のタイミングをみると、「進学」（64.5%）が最も多く、「実家の都合（引っ越し、転勤等）」（12.3%）、「就職（初めての会社）」（10.0%）が続いた。

（単一回答）

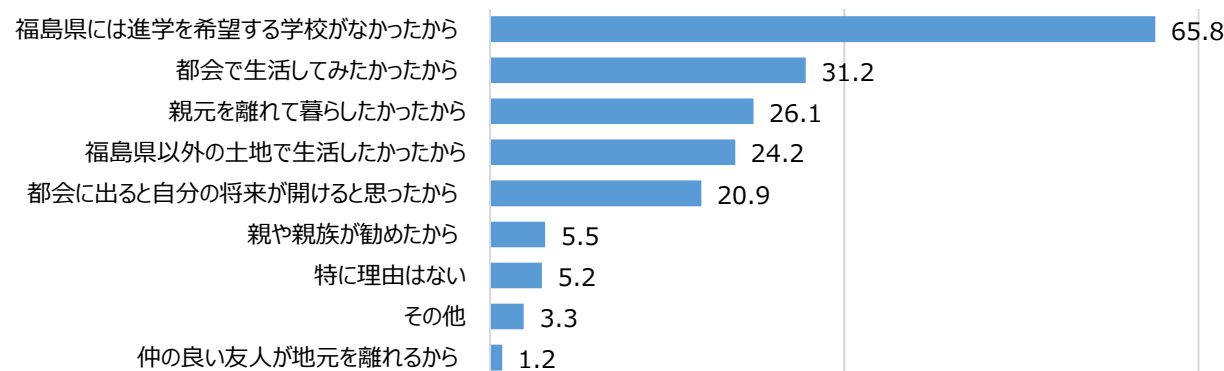


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査3）

Q5 あなたが福島県内で進学しなかった理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

○福島県内で進学しなかった理由をみると、「福島県には進学を希望する学校がなかったから」（65.8%）が最も多く、「都会で生活してみたかったから」（31.2%）、「親元を離れて暮らしたかったから」（26.1%）が続いた。

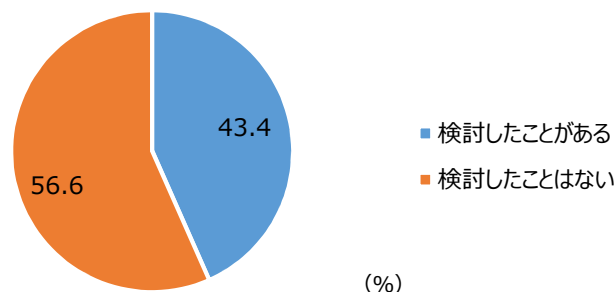
（複数回答）



Q6 あなたは福島県内での就職・転職を検討したことがありますか。

○福島県内での就職・転職の検討の有無をみると、「検討したことがある」が43.4%、「検討したことはない」が56.6%となった。

（単一回答）



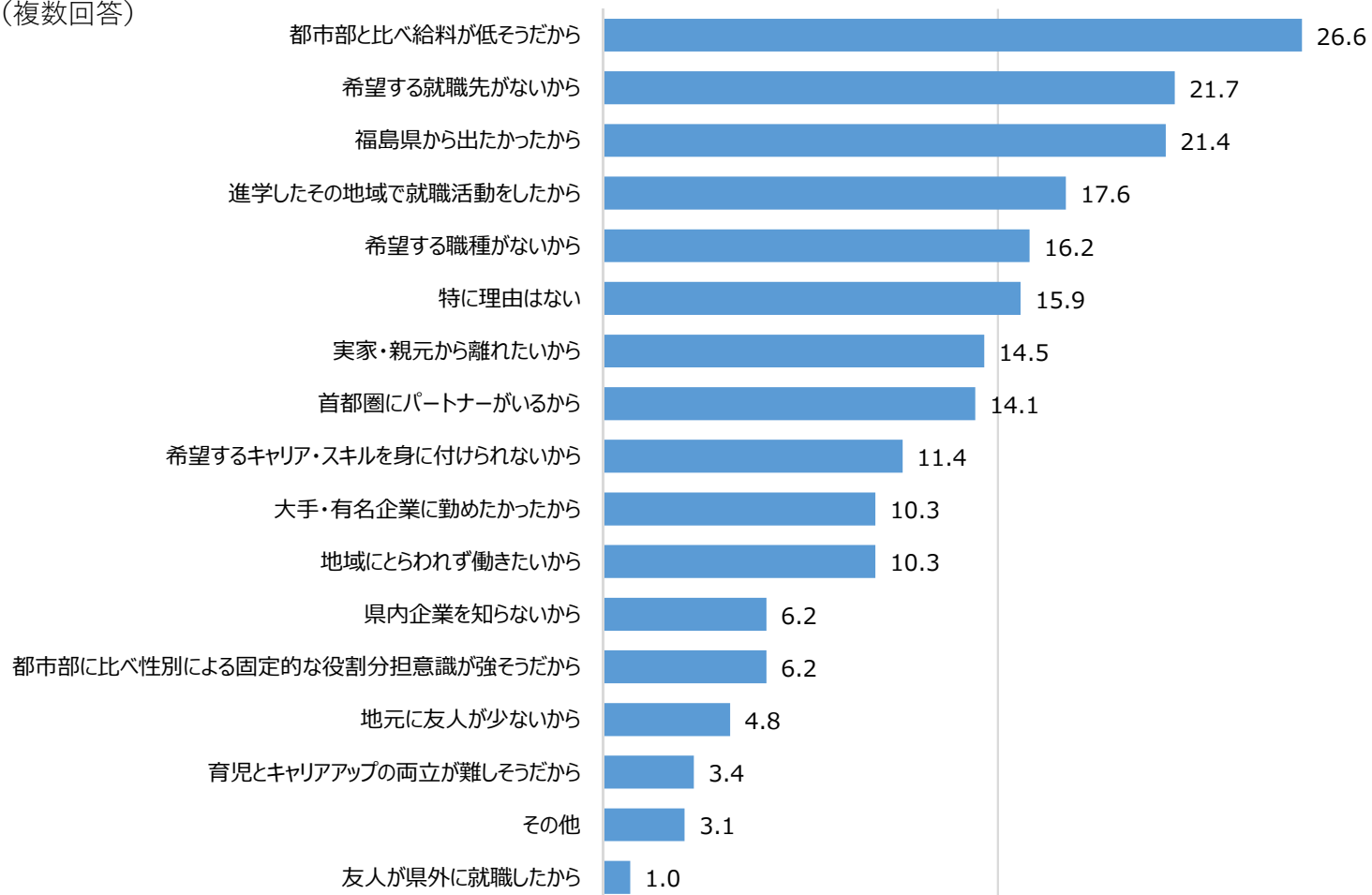
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査4）

Q7 「検討したことはない」とお答えの方にお伺いします。

あなたが福島県内での就職・転職を検討しなかった理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

○福島県内での就職・転職を検討しなかった理由をみると、「都市部と比べ給料が低そうだから（26.6%）」が最も多く、「希望する就職先がないから」（21.7%）、「福島県から出たかったから」（21.4%）が続いた。

（複数回答）



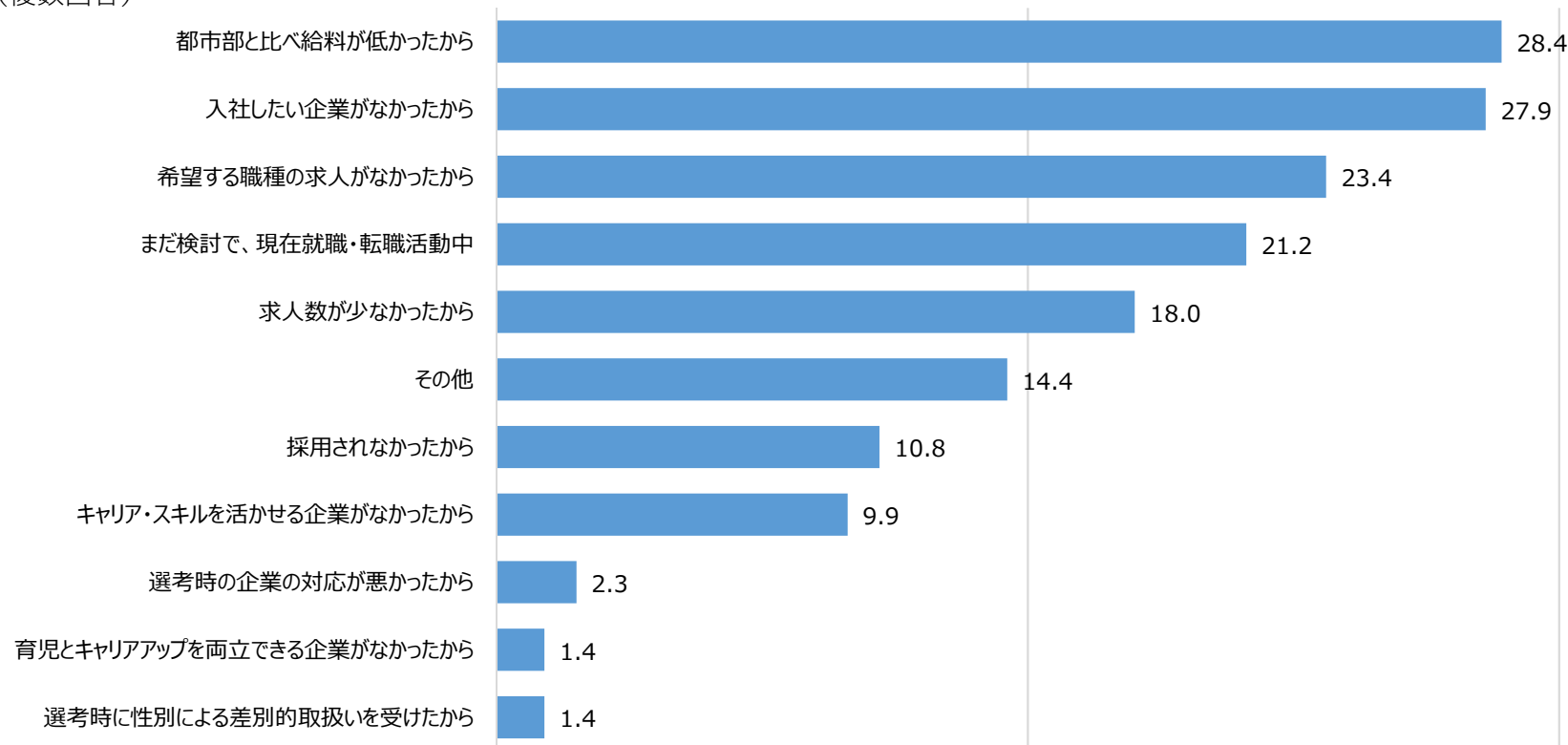
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査5）

Q8 「検討したことがある」とお答えの方にお伺いします。

あなたが県内企業での就職・転職に至らなかった理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

○県内企業での就職・転職に至らなかった理由をみると、「都市部と比べ給料が低かったから」（28.4%）が最も多く、「入社したい企業がなかったから」（27.9%）、「希望する職種の求人がなかったから」（23.4%）が続いた。

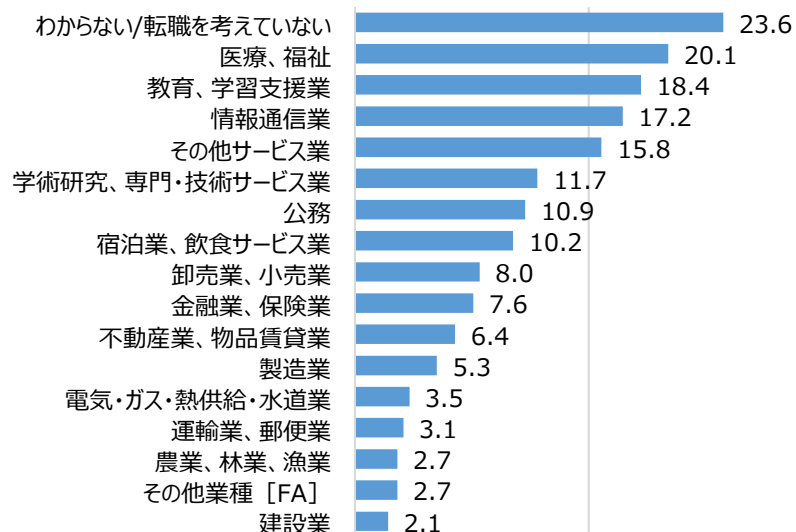
（複数回答）



首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査6）

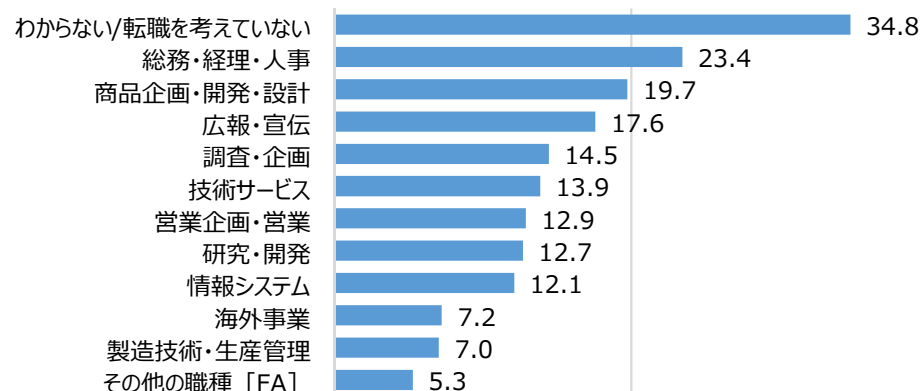
Q9 あなたが就職・転職して就きたいと思う業種について、あてはまるものをすべてお選びください。
 ○希望する就職・転職先の業種をみると、「わからない/転職を考えていない」（23.6%）が最も多く、「医療、福祉」（20.1%）、「教育、学習支援業」（18.4%）が続いた。

（複数回答）



Q10 あなたが就職・転職して就きたいと思う職種について、あてはまるものをすべてお選びください。
 ○希望する就職・転職先での職種をみると、「わからない/転職を考えていない」（34.8%）が最も多く、「総務・経理・人事」（23.4%）、「商品企画・開発・設計」（19.7%）が続いた。

（複数回答）

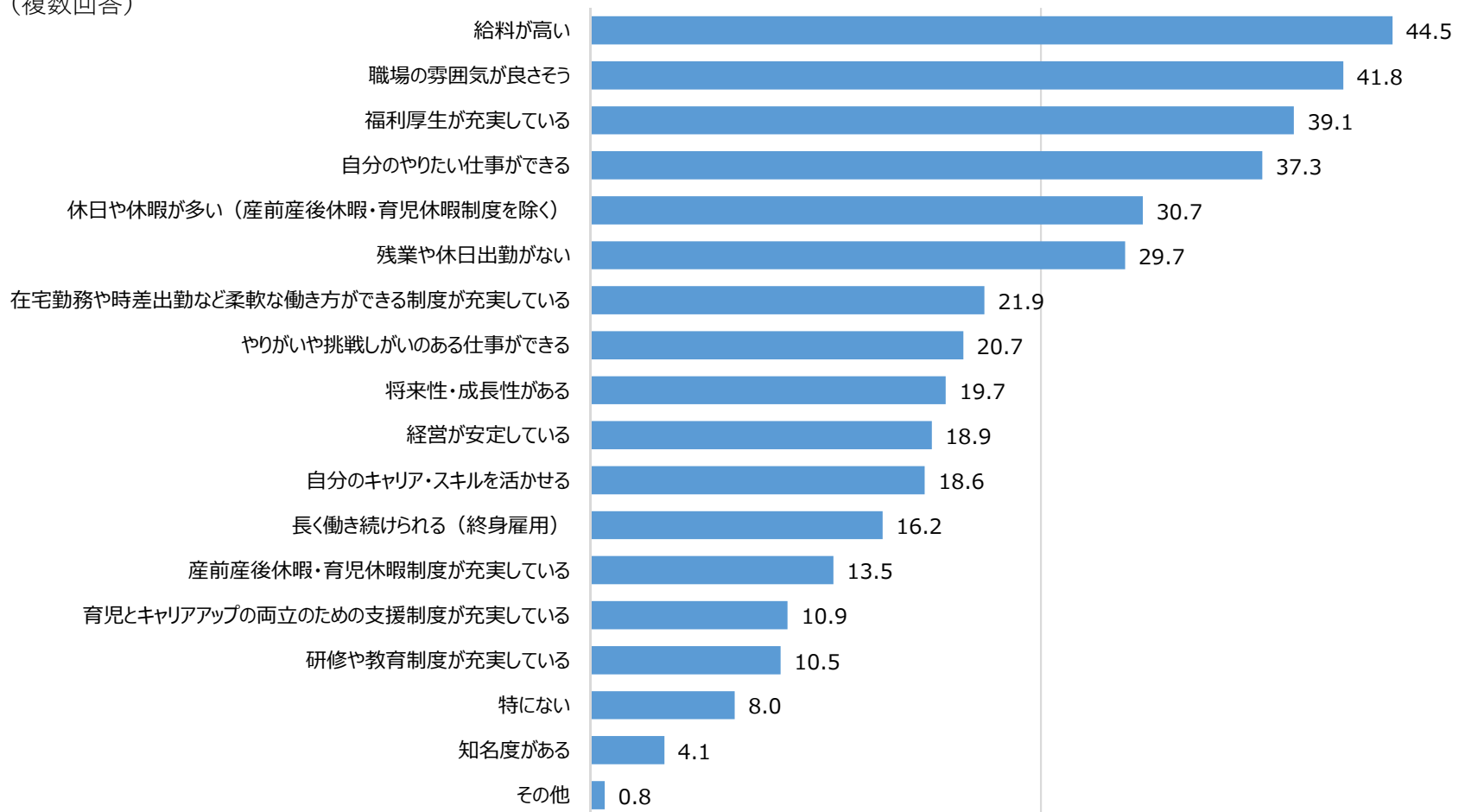


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査7）

Q11 あなたが就職・転職先を選ぶ際に重視した（する）ポイントについて、あてはまるものを5つまでお選びください。

○就職・転職先を選ぶ際に重視するポイントを見ると、「給料が高い」（44.5%）が最も多く、「職場の雰囲気良さそう」（41.8%）、「福利厚生が充実している」（39.1%）が続いた。

（複数回答）

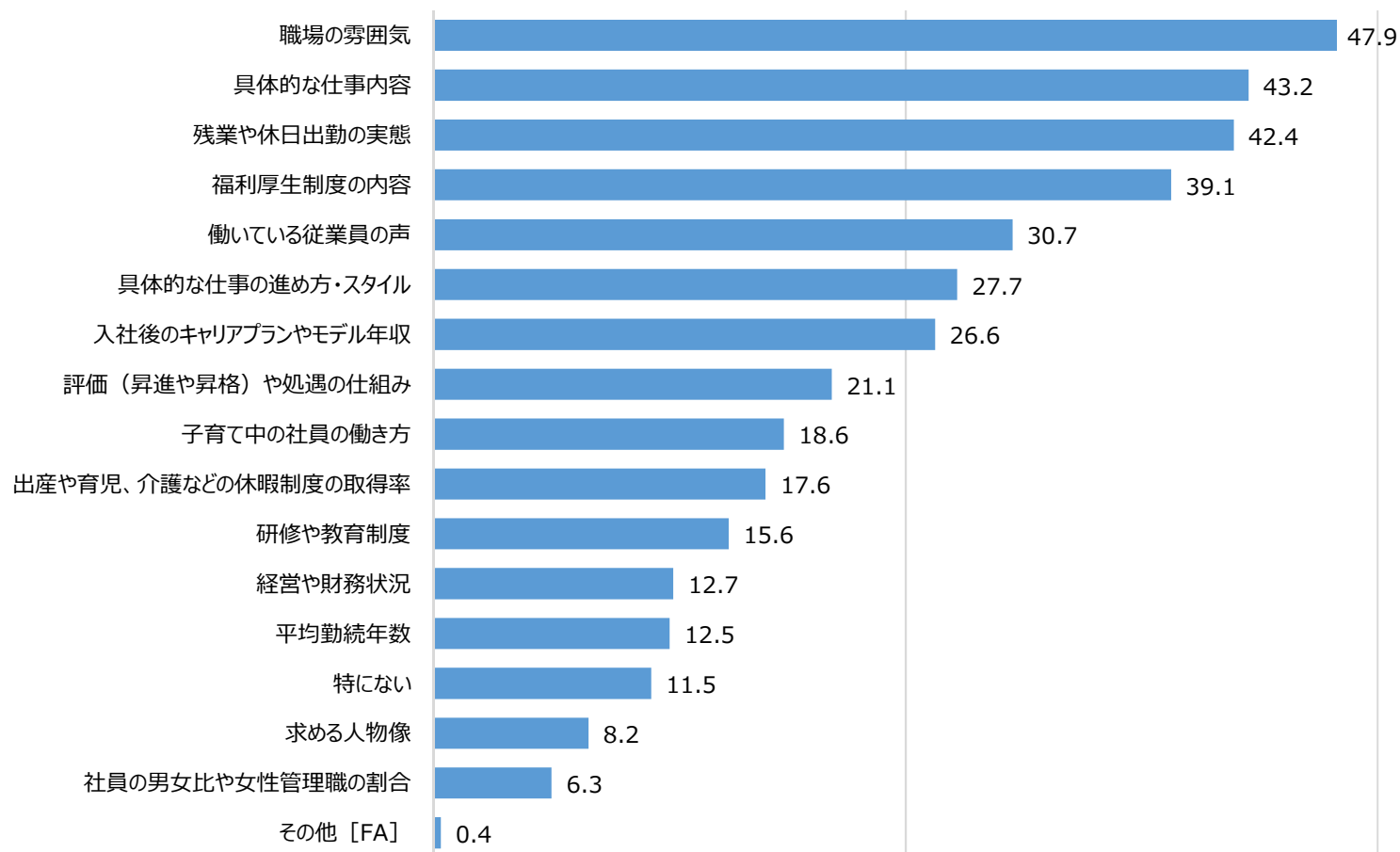


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査8）

Q12 あなたが就職・転職活動中に知りたいと思っていた（いる）就職・転職先情報について、あてはまるものを5つまでお選びください。

○就職・転職先を選ぶ上で知りたい情報を見ると、「職場の雰囲気」（47.9%）が最も多く、「具体的な仕事内容」（43.2%）、「残業や休日出勤の実態」（42.4%）が続いた。

（複数回答）

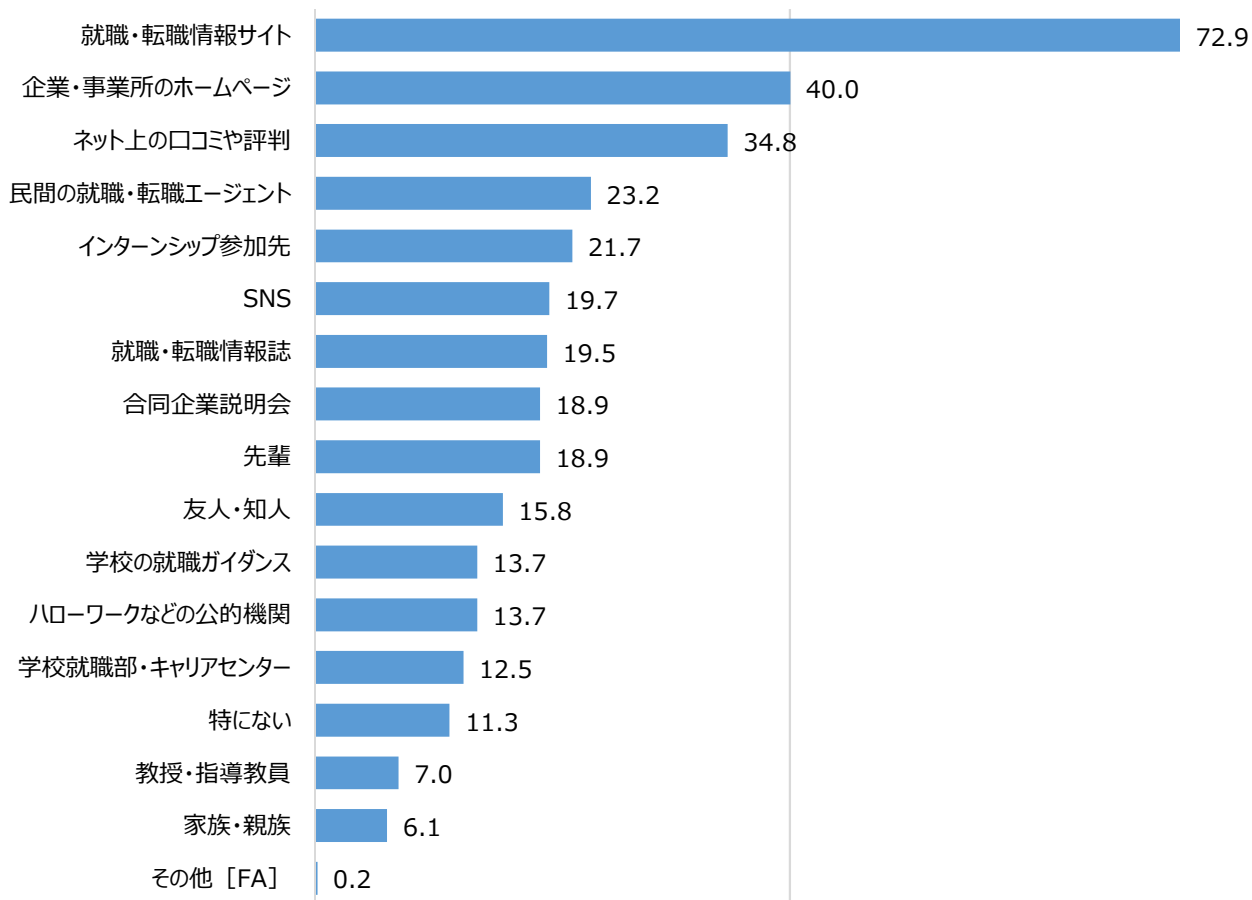


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査9）

Q13 あなたが就職・転職先情報を探すうえで、有効な（だと思う）方法について、あてはまるものをすべてお選びください。

○就職・転職先を探すうえで有効な方法をみると、「就職・転職情報サイト」（72.9%）が最も多く、「企業・事業所のホームページ」（40.0%）、「ネット上の口コミや評判」（34.8%）が続いた。

（複数回答）

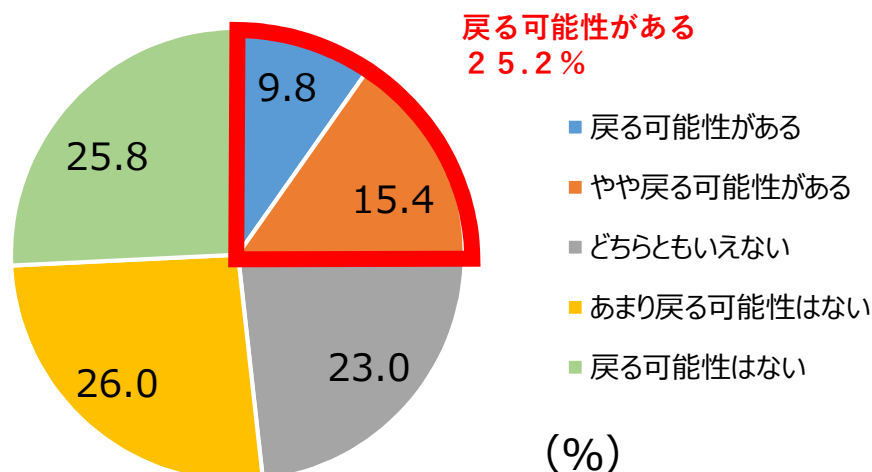


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査10）

Q14 あなたが将来、福島県に戻る可能性を教えてください。

○福島県へのUターンの可能性をみると、「戻る可能性がある」（「戻る可能性がある」「やや戻る可能性がある」の合計）が25.2%、「どちらともいえない」が23.0%、「戻る可能性はない」（「あまり戻る可能性はない」「戻る可能性はない」の合計）が51.8%となった。

（単一回答）

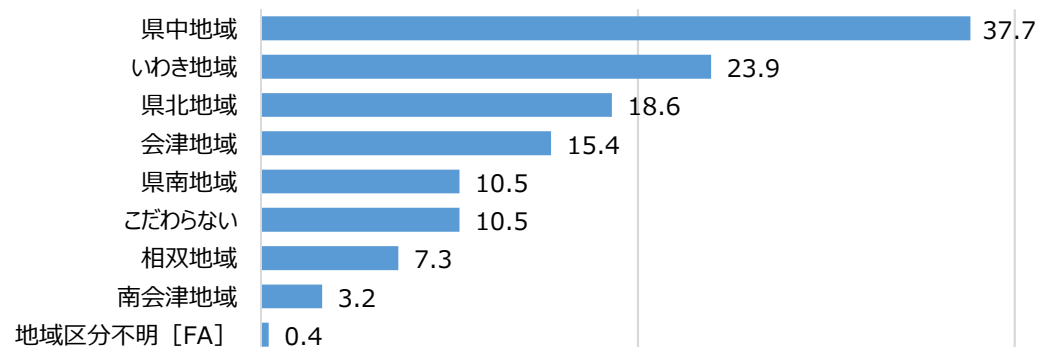


Q15 あなたが将来、福島県に戻る際に住みたい地域について、あてはまるものをすべてお選びください。

※地域区分がわからない場合は「地域区分不明」を選択し、市町村名を記入してください。

○将来、福島県にUターンした際に住みたい地域をみると、「県中地域」（37.7%）が最も多く、「いわき地域」（23.9%）、「県北地域」（18.6%）が続いた。

（複数回答）



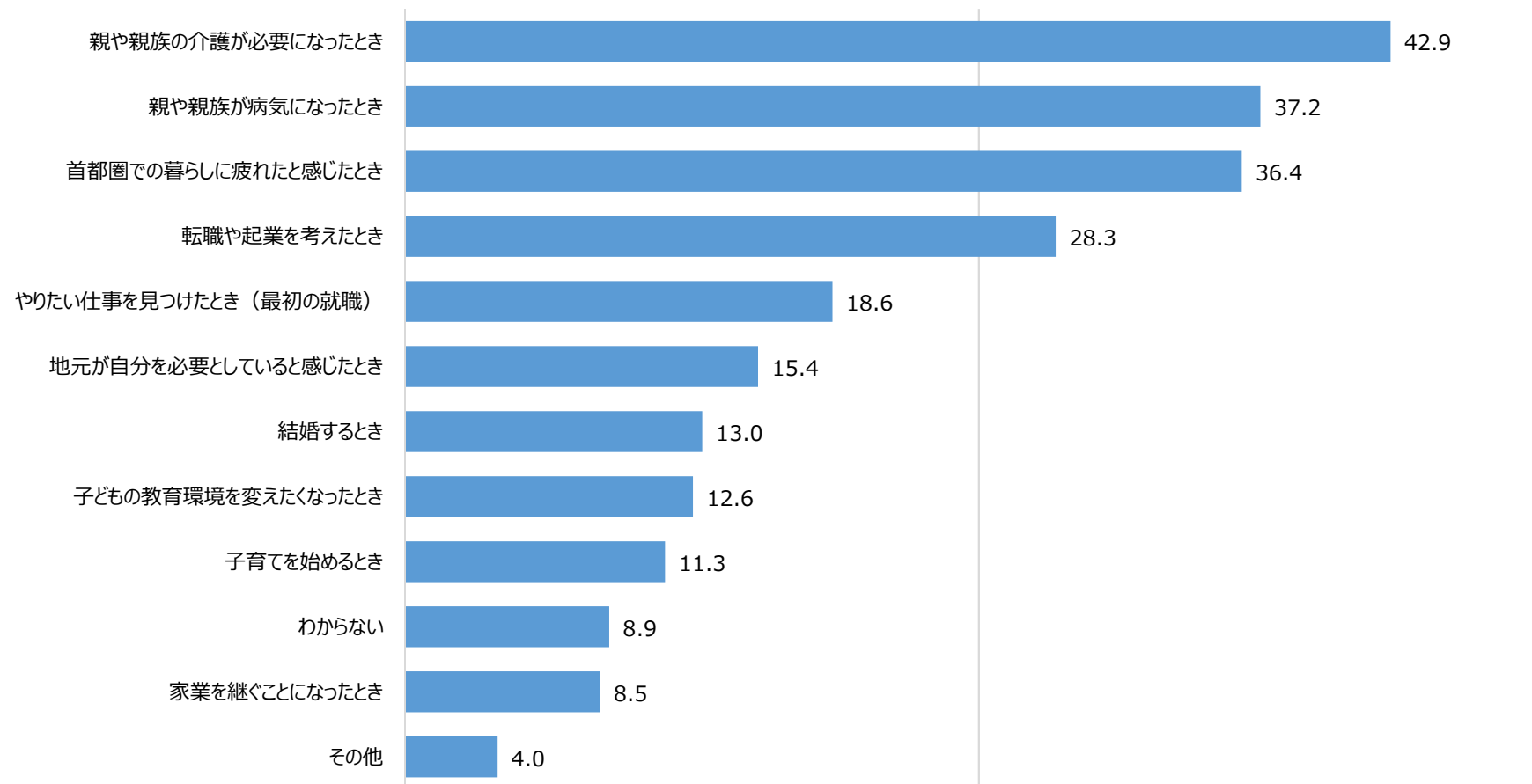
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査11）

Q16 あなたが将来、福島県に戻るきっかけになると思うタイミングについて、あてはまるものをすべてお選びください。

※Q14で「戻る（やや戻る）可能性がある」「どちらともいえない」と答えた方が回答

○将来、福島県にUターンするきっかけとなるタイミングをみると、「親や親族の介護が必要になったとき」（42.9%）が最も多く、「親や親族が病気になったとき」（37.2%）、「首都圏での暮らしに疲れたと感じたとき」（36.4%）が続いた。

（複数回答）



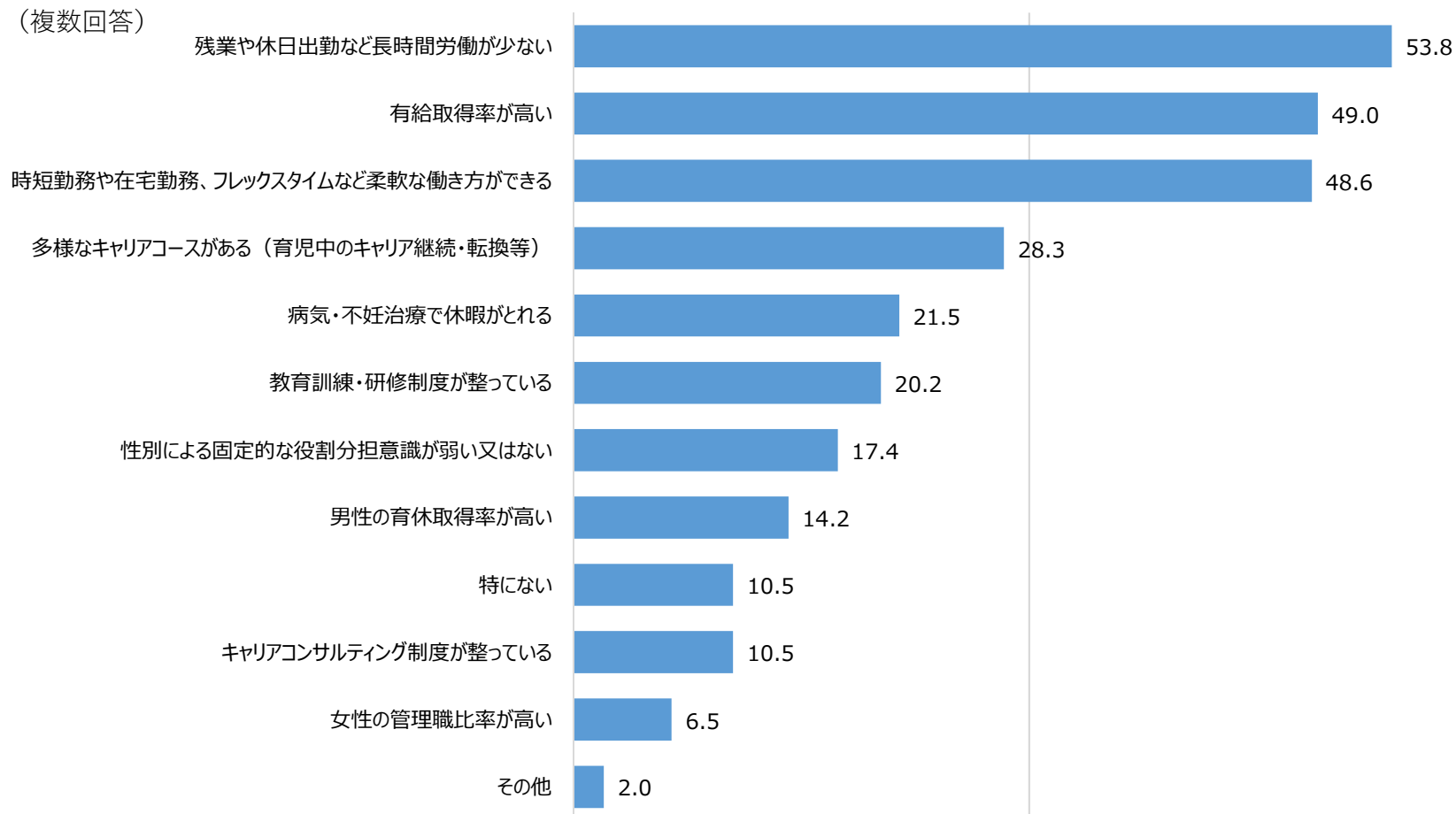
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査12）

Q17 福島県に戻る際に、働く場所として企業に求める条件について、あてはまるものをすべてお選びください。

※Q14で「戻る（やや戻る）可能性がある」「どちらともいえない」と答えた方が回答

○働く場所として福島県内企業に求める条件をみると、「残業や休日出勤など長時間労働が少ない」（53.8%）が最も多く、「有給取得率が高い」（49.0%）、「時短勤務や在宅勤務、フレックスタイムなど柔軟な働き方ができる」（48.6%）が続いた。

（複数回答）



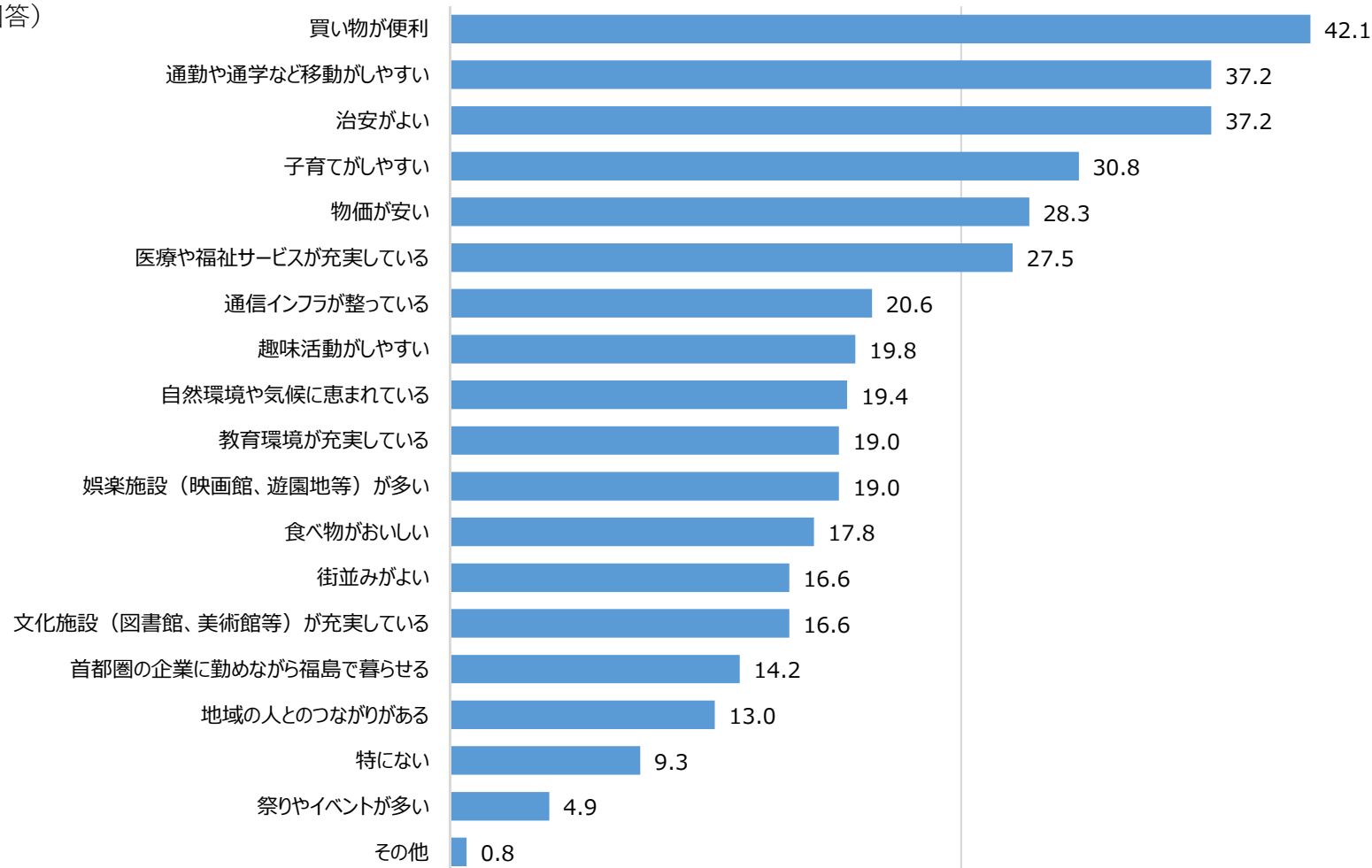
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査13）

Q18 福島県に戻る際に、暮らす場所として地域に求める条件について、あてはまるものを5つまでお選びください。

※Q14で「戻る（やや戻る）可能性がある」「どちらともいえない」と答えた方が回答

○暮らす場所として福島県内の地域に求める条件をみると、「買い物が便利」（42.1%）が最も多く、「通勤や通学など移動がしやすい」「治安がよい」（37.2%）が続いた。

（複数回答）

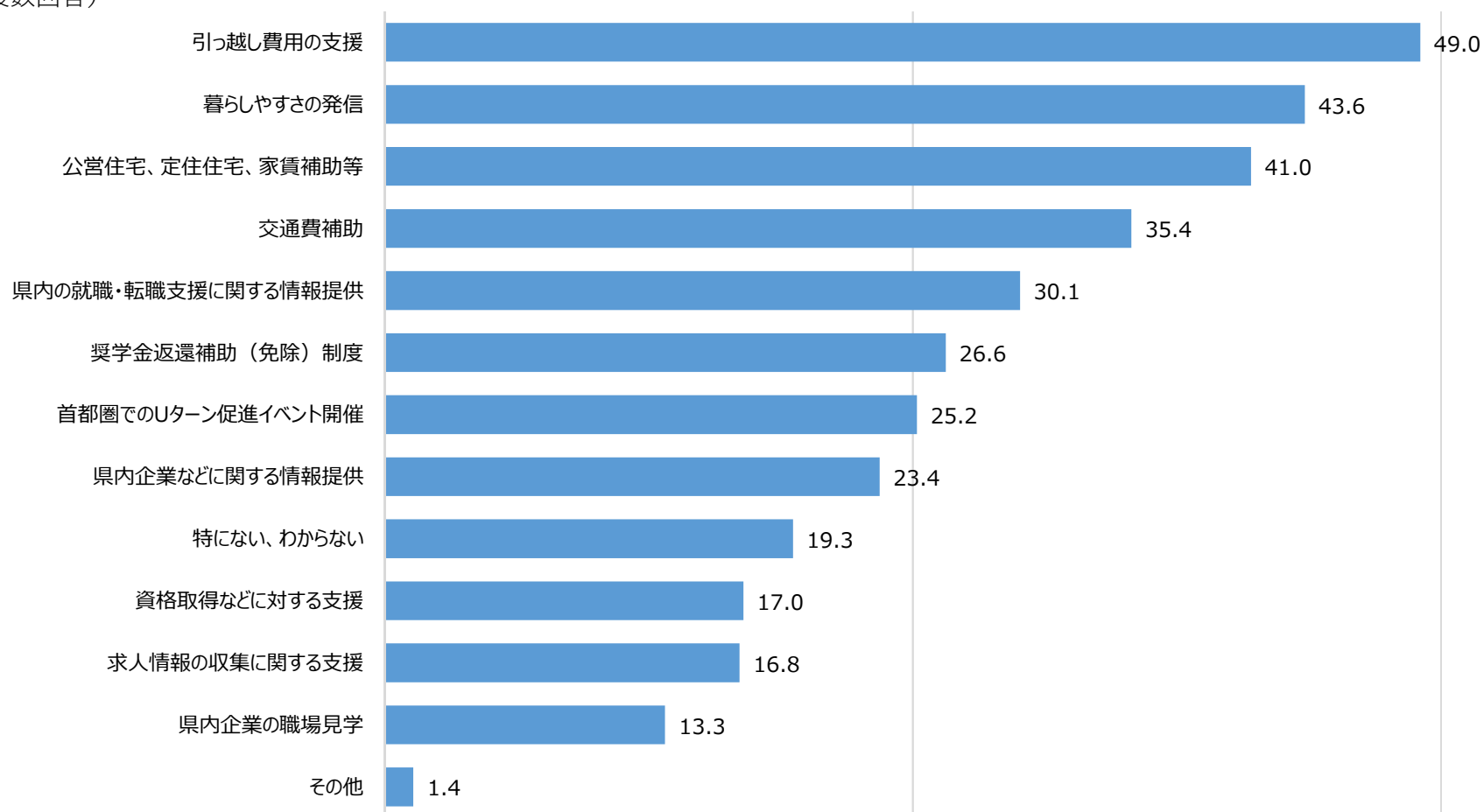


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査14）

Q19 20～30代の若者の福島県へのUターンを促進するために、行政に期待する支援について、あてはまるものをすべてお選びください。

○若者の福島県へのUターン促進のために行政に期待する支援をみると、「引っ越し費用の支援（49.0%）」が最も多く、「暮らしやすさの発信」（43.6%）、「公営住宅、定住住宅、家賃補助等」（41.0%）」が続いた。

（複数回答）

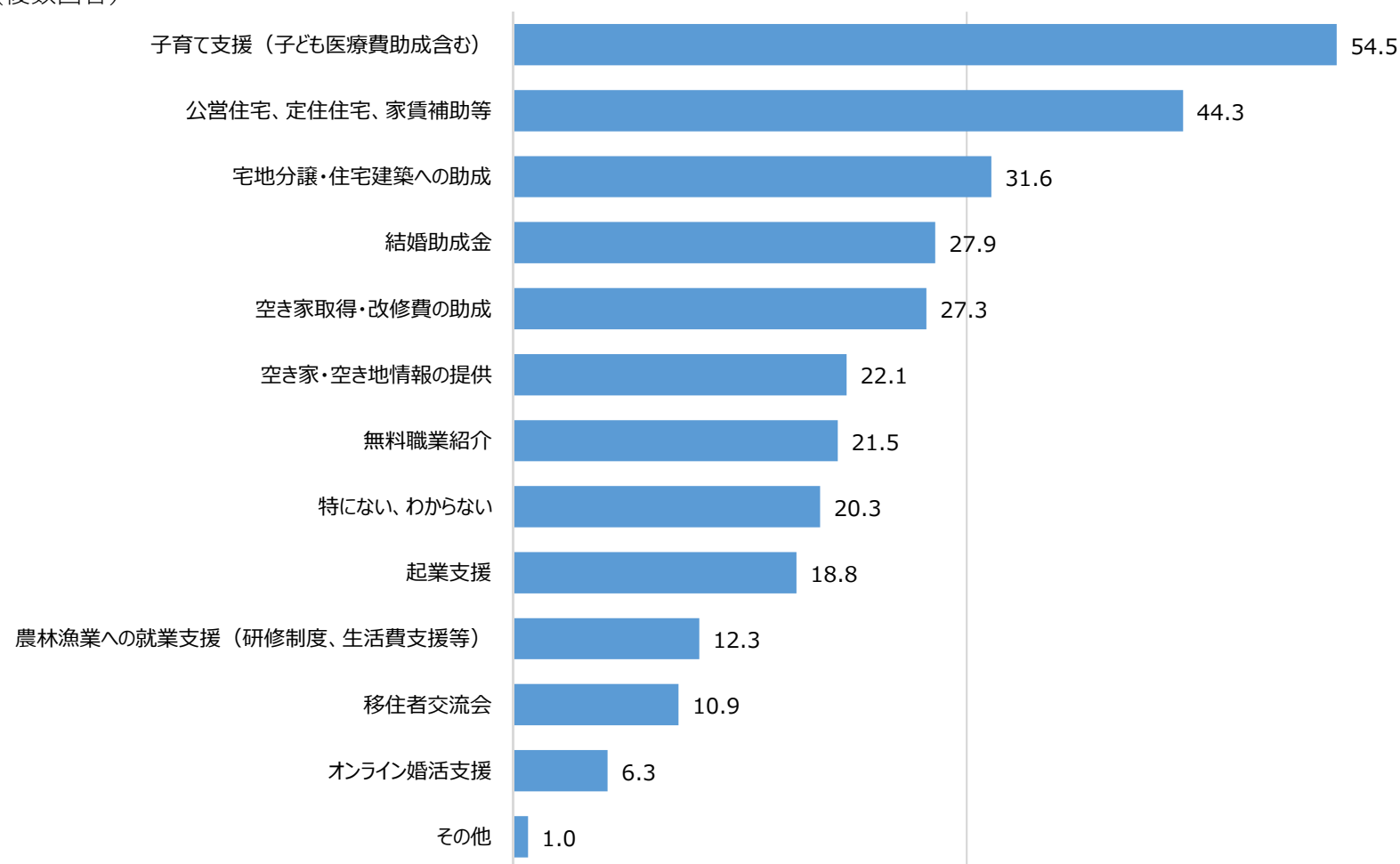


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査15）

Q20 若者の福島県での定住（5年以上住み続ける）を促進するために、行政に期待する支援について、あてはまるものをすべてお選びください。

○若者の福島県での定住（5年以上住み続ける）促進のために行政に期待する支援をみると、「子育て支援（子ども医療費助成含む）」（54.5%）が最も多く、「公営住宅、定住住宅、家賃補助等」（44.3%）、「宅地分譲・住宅建築への助成」（31.6%）が続いた。

（複数回答）



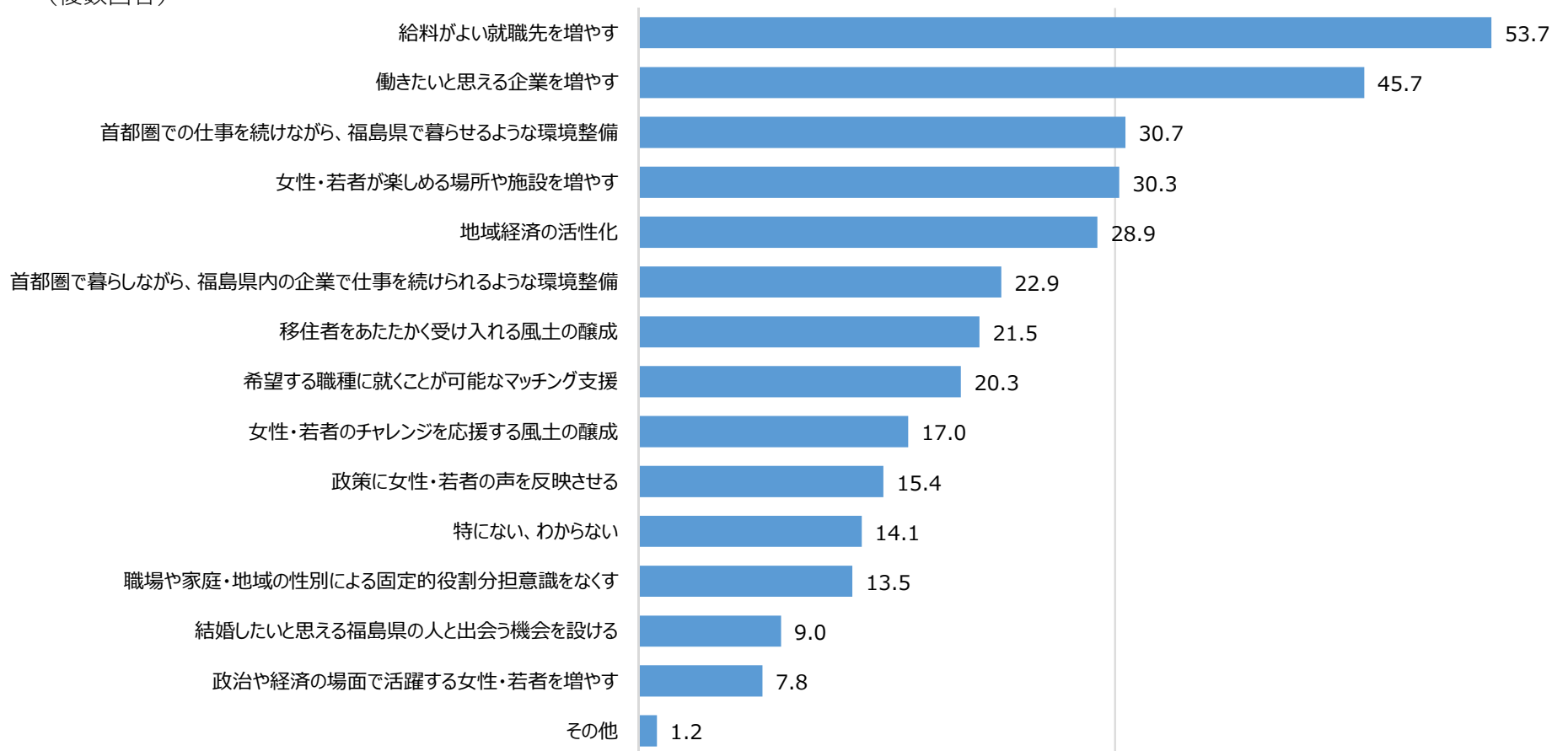
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査16）

Q21 若者の福島県への移住・定住を促進するために、地域や企業に必要な取組みについて、あなたの考えを教えてください。

※あてはまるものを5つまでお選びください。

○若者の福島県への移住・定住促進のために地域や企業に必要な取組みをみると、「給料がよい就職先を増やす」（53.7%）が最も多く、「働きたいと思える企業を増やす」（45.7%）、「首都圏での仕事を続けながら、福島県で暮らせるような環境整備」（30.7%）が続いた。

（複数回答）

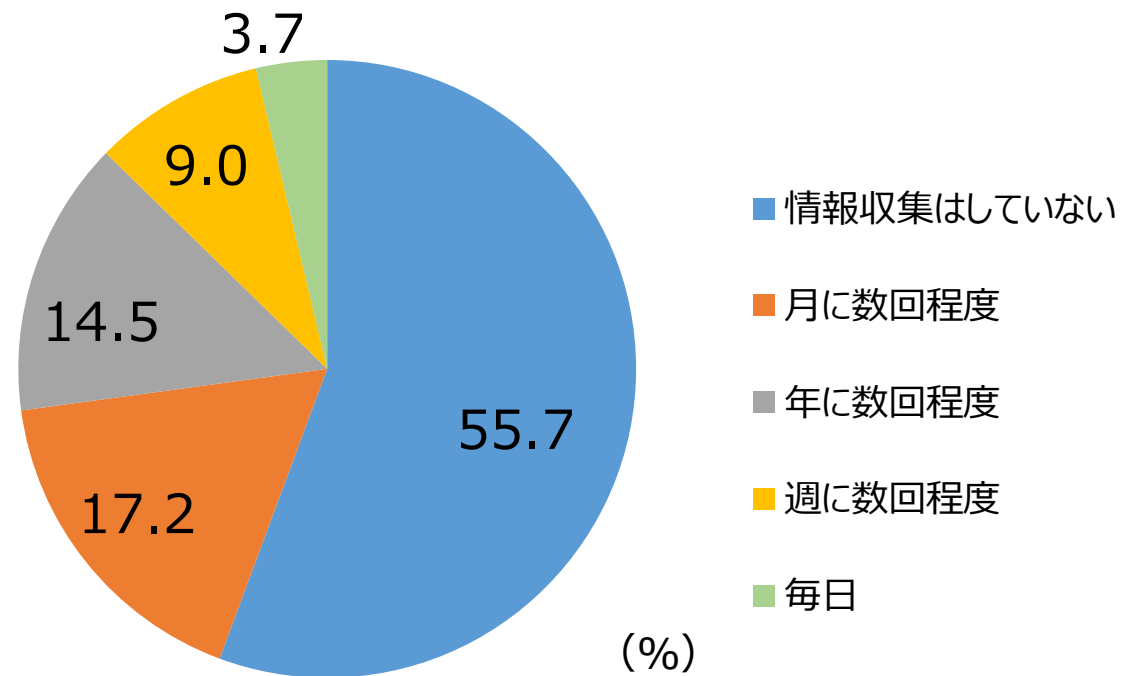


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査17）

Q22 福島県に関する情報収集の頻度を教えてください。

○福島県に関する情報収集の頻度をみると、「情報収集はしていない」（55.7%）が最も多く、「月に数回程度」（17.2%）、「年に数回程度」（14.5%）が続いた。

（単一回答）



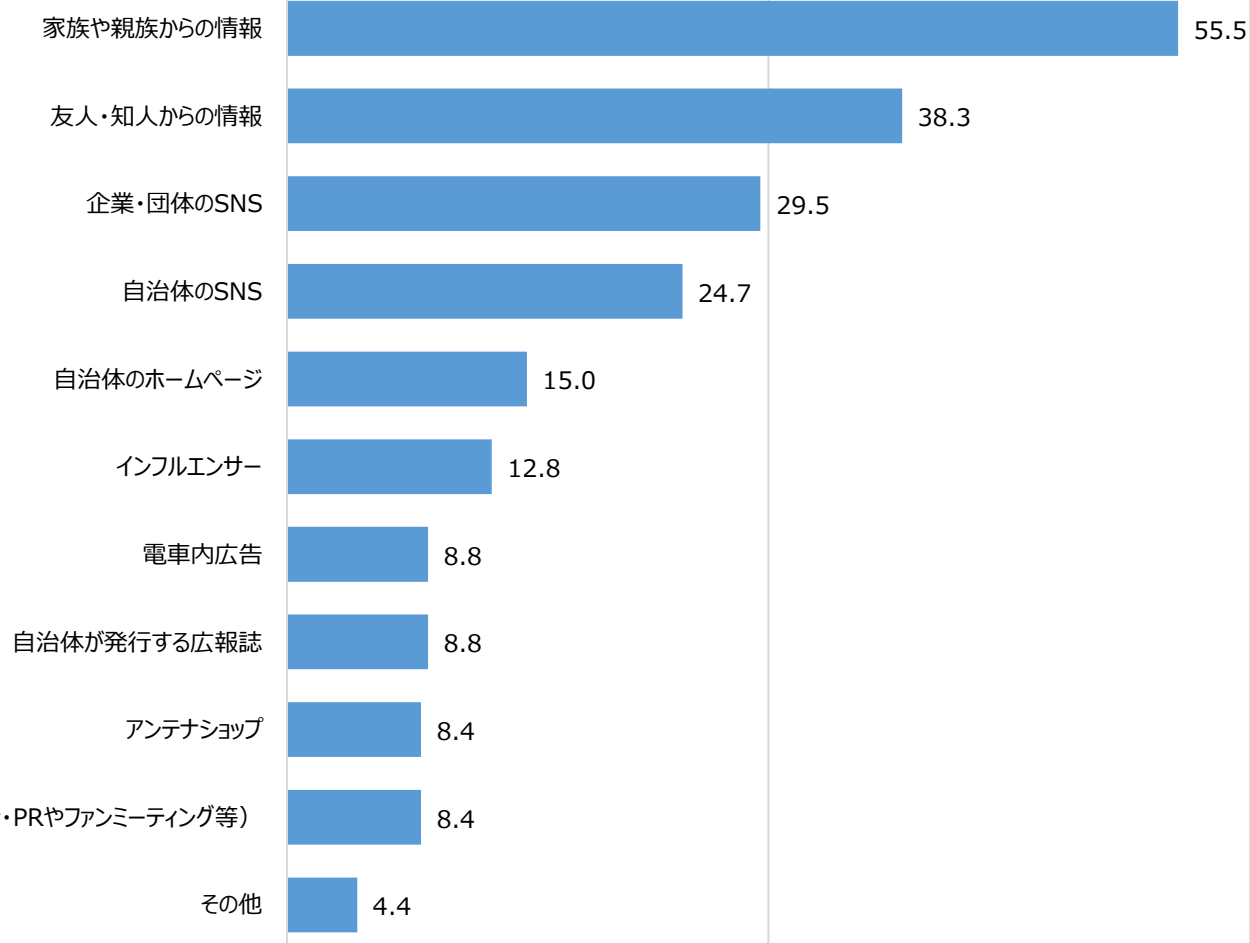
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査18）

Q23 福島県に関する情報収集の方法について、あてはまるものをすべてお選びください。

※Q22で「情報収集はしていない」と答えた方以外が回答

○福島県に関する情報収集の方法をみると、「家族や親族からの情報」（55.5%）が最も多く、「友人・知人からの情報」（38.3%）、「企業・団体のSNS」（29.5%）が続いた。

（複数回答）

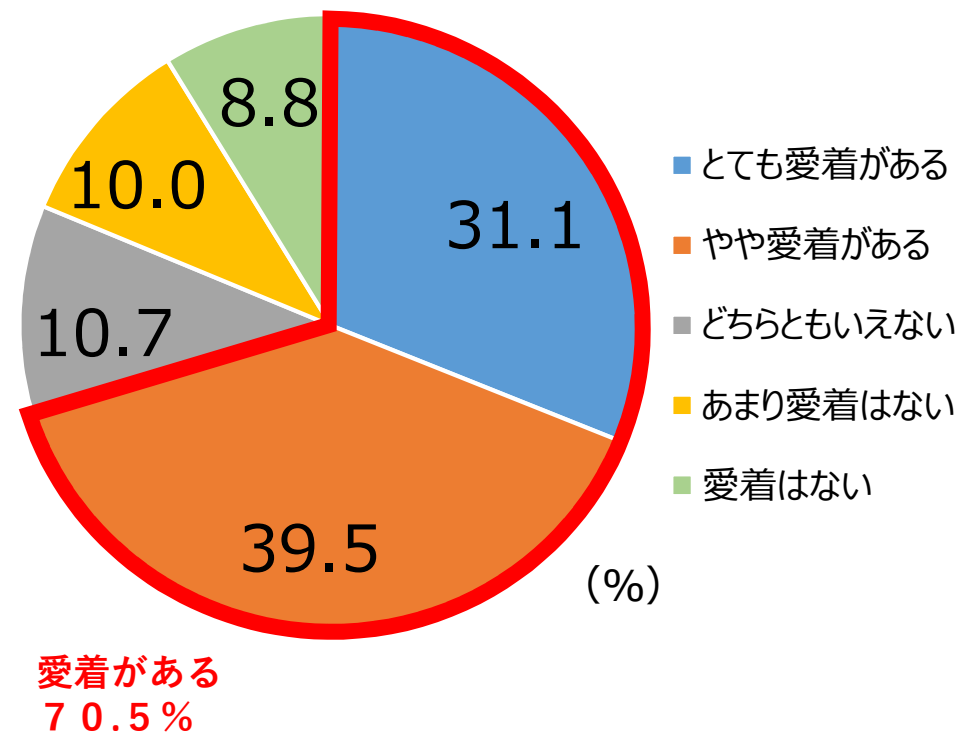


首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査19）

Q24 あなたは福島県又は県内市町村にどの程度愛着がありますか。

○福島県又は県内市町村への愛着度をみると、「愛着がある」（「とても愛着がある」「やや愛着がある」の合計）が70.5%、「どちらともいえない」が10.7%、「愛着がない」（「あまり愛着はない」「愛着はない」の合計）が18.8%となった。

（単一回答）



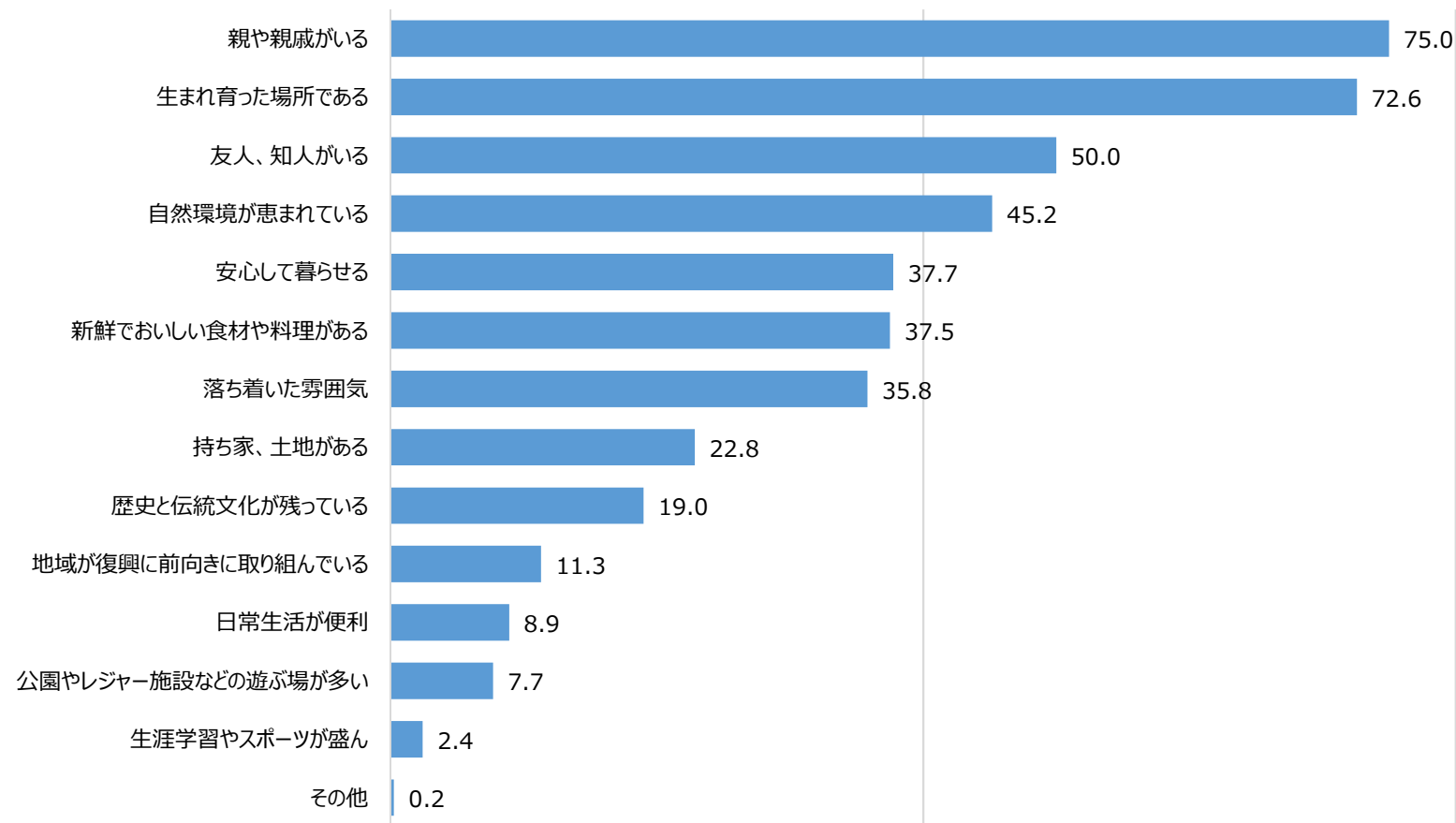
首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査20）

Q25 あなたが福島県に愛着を感じる要素について、あてはまるものをすべてお選びください。

※Q24で「愛着がある」「どちらともいえない」と答えた方が回答

○福島県に愛着を感じる要素をみると、「親や親戚がいる」（75.0%）が最も多く、「生まれ育った場所である」（72.6%）、「友人、知人がいる」（50.0%）が続いた。

（複数回答）



首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果（本調査 2 1）

Q26 福島県内在住時（学生時代）の生活で福島県への愛着形成につながったと思う機会・経験について、あてはまるものをすべてお選びください。

※Q24で「愛着がある」「どちらともいえない」と答えた方が回答

○福島県内在住時の生活で福島県への愛着形成につながった機会・経験をみると、「特にない」（36.5%）が最も多く、「地域の芸術・文化について触れた」（27.4%）、「地域住民とのコミュニケーション」（26.0%）が続いた。

（複数回答）

